

MR（麻しん風しん混合）ワクチン「タケダ」・麻しんワクチン「タケダ」

の自主回収について

令和6年1月、武田薬品工業株式会社より一部ロットの製品につきまして、有効成分の1つである麻しんウイルス力価（効果の強さ）が有効期間内に承認規格を下回った、または今後下回る可能性があることから自主回収の対応が行われました。

自主回収対象のワクチンを接種していても、現時点で安全性や効果について問題はないとのことです。自主回収の対象製品の情報が掲載されておりますので、製薬会社のHPをご確認下さい。

[武田薬品工業株式会社ニュースリリース（令和6年1月16日付）](#)

製品の有効性と安全性、ならびに、

承認規格を下回る可能性のある時期の接種者の調査と連絡について

該当ロット製品については、自主回収のお知らせ文書の通り、品質や安全性に影響があったとの報告はありません。また、該当ロットを自主回収開始までに接種された方であっても、ウイルスに対する感染予防効果は得られていると考えられます。

そのうえで、回収対象となったワクチンのうち、承認された規格を下回る可能性を否定できないとされる下記表の期間に接種して有効性に不安を感じられる方への対応として、武田薬品工業株式会社では抗体検査を希望される場合や抗体検査の結果を踏まえて追加の接種を検討する場合に、これらが無償で受けいただくことができるような体制構築が現在進められており、2024年2月中旬以降発表予定とのことです。

承認規格を下回る可能性が否定できない期間

品目	ロット	表示上有効期限	承認規格を下回る可能性を否定できない期間
MR ワクチン	Y302	2024年1月18日	2023年12月14日以降
	Y303	2024年2月15日	2023年8月26日以降
麻しんワクチン	F112	2024年2月7日	2023年12月8日以降
	F113	2024年5月31日	
	F114	2024年9月4日	

抗体検査や再接種の対応は、記載されているロットのワクチンを『承認規格を下回る可能性を否定できない期間』（日付以降）に接種している方が該当者となります。

厚生労働省資料

乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの製造販売業者による自主回収への対応について【厚生労働省】(PDF ファイル: 533.8KB)

[240116mhlw.pdf \(ibaraki-koga.lg.jp\)](#)